

社会的インパクト評価ツールセット 就労支援

Version 1.0

2016 年 6 月 14 日

G8 社会的インパクト投資国内諮問委員会

社会的インパクト評価ワーキング・グループ

伊藤 健、今田 克司、大沢 望、鴨崎 貴泰、下田 聖実、藤田 滋

I. はじめに

本評価ツールでは、「就労支援」を分野として取り上げています。本評価ツールが対象とする「就労支援」事業とは、様々な理由で無業状態または、それに近い状態の方が、様々な就労支援を受けて一般就労（正規・非正規雇用を含む）を目指す事業を想定しています。支援を受ける対象者（プログラム参加者）は、健常者だけでなく、何らかの障がいを持っている方も含むことを想定しています。

また、就労支援の内容については、キャリア・コンサルティング、履歴書の作成指導、ニーズに応じた職業紹介、個別求人開拓、面接対策、就労後のフォローアップなど、就労に向けた準備が一定程度整っている方を対象としたプログラムから、まだ、準備が整っていない方を対象とした、生活リズムの改善や仕事に向かうための様々なスキル形成を含む就労基礎訓練まで、幅広い事業を想定しています。

II. ロジック・モデルをつくる

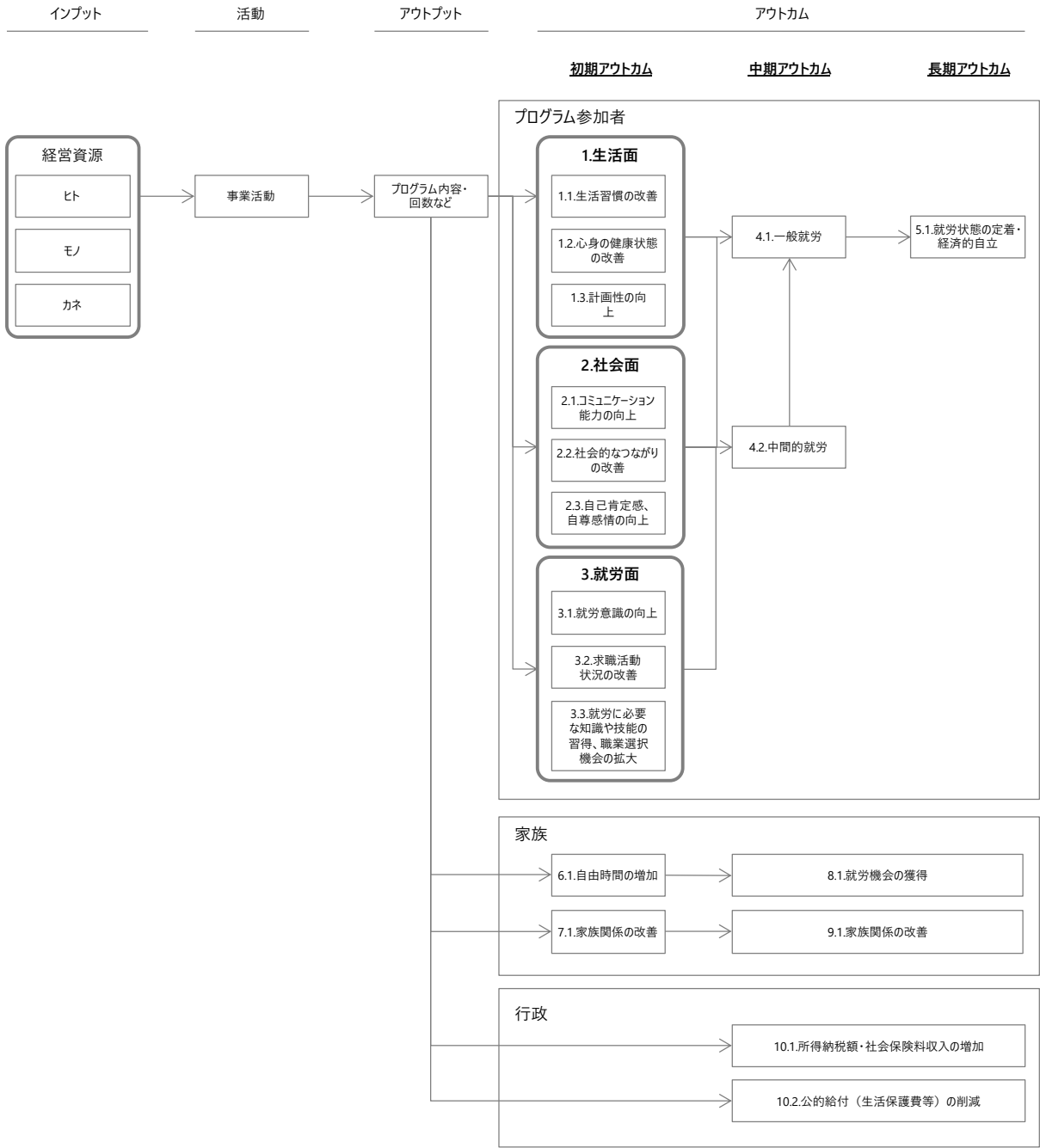
II.1. 事業の目標と受益者を特定する

本評価ツールでは、対象事業となる就労支援等の最終的な目標を、支援対象である「プログラム参加者」が、様々なプログラムを通じて就労し、経済的な自立を果たすこととしました。したがって、事業の主な受益者を「プログラム参加者」としました。また、「プログラム参加者」が就労に至る過程で発生する波及的成果が、その「家族」や「行政」にも現れることが想定されることから、それらについても事業の受益者に設定しました。

II.2. アウトカム（成果）のロジックを考える

対象事業の成果を評価するために、事業の受益者である「プログラム参加者」「家族」「行政」について、事業を通じて達成したい目標とアウトカム（成果）、そして、それにいたる活動および変化の因果関係を「ロジック・モデル」として整理します（図表1）。II.2.1以降で、アウトカムについて具体的に説明します。

図表 1：就労支援分野における一般的なロジック・モデル



* 個々のアウトカムのグルーピングは、本ツールでは便宜上行っているもので、ロジック・モデルを作成する上で必須ではありません。

II.2.1. 初期アウトカム

「プログラム参加者」が、様々な支援プログラムへ参加した成果として、まず一般就労に従事する準備としての基礎能力に変化が現れます。なぜならば、「プログラム参加者」の中には、単に就労に必要な実践的な知識・技能等が欠けているだけではなく、複合的な課題があり、生活リズムが崩れている、社会との関わりに不安を抱えている、就労意欲が低下しているなどの理由により直ちに就労することが困難な方もいると想定されます。したがって、就労支援の目標に一般就労に従事する準備としての基礎能力の向上も含めて設定し、それらを「初期アウトカム」としました。

また、本評価ツールでは、「初期アウトカム」を「生活面」「社会面」「就労面」に分けて整理し¹、さらにそれらを構成する詳細アウトカムを設定しました（図表2）。

また、「家族」については、「プログラム参加者」が就労支援プログラムに参加するために定期的に外出するようになることで、時間の余裕が生まれ「自由時間の増加」が成果として現れる場合があります。また、「プログラム参加者」の一般就労に従事する基礎能力に変化が現れた結果、「家族」の精神的な負担等が軽減され、家庭内での会話が増えるなど「家族関係の改善」が成果として現れる場合があります。したがって、「家族」の初期アウトカムとして「自由時間の増加」と「家族関係の改善」を設定しました。「行政」に関しては、初期アウトカムは設定しません。

II.2.2. 中期アウトカム

「プログラム参加者」が、様々な支援プログラムへ参加した成果として、一般就労に従事する準備としての基礎能力が向上した（初期アウトカム）結果、一般就労または中間的就労した成果を「中期アウトカム」とし、それぞれに詳細アウトカムを設定しました（図表2）。

また、対象事業終了後、中間的就労を経て一般就労したケースが確認できた場合は、対象事業が間接的に生み出した成果として記録することも可能です。

また、「家族」については、「初期アウトカム」において「自由時間が増加」した結果、その時間を使って「就労機会を獲得」する場合がありますため、これを「中期アウトカム」として設定しました。

また、「初期アウトカム」同様、「家族関係の改善」も「中期アウトカム」として設定しました。

最後に「行政」に関しては、「プログラム参加者」が一般就労することにより、「所得納税額や社会保険料収入の増加」が見込まれます。また、「プログラム参加者」が生活保護等を受給している

¹ アウトカムのグルーピングは、本ツールで便宜上行っているもので、ロジック・モデルを作成する上で必須ではありません。

場合、所得の増加に伴い「生活保護費等の給付額の減少または廃止」になる場合もあり、それらを「中期アウトカム」に設定しました。

II.2.3. 長期アウトカム

「プログラム参加者」が、一般就労した後も、就業状態が定着し、経済的自立を果たすことを就労支援事業の最終目標としています。したがって、本評価ツールでは、就業状態の定着および経済的自立を果たした成果を「長期アウトカム」としました。

また、「家族」については、「中期アウトカム」同様、「就労機会の獲得」「家族関係の改善」を「長期アウトカム」として設定しました。

最後に「行政」については、「中期アウトカム」同様、「所得納税額・社会保険料収入の増加」と「公的給付（生活保護等）の削減」を「長期アウトカム」に設定しました。

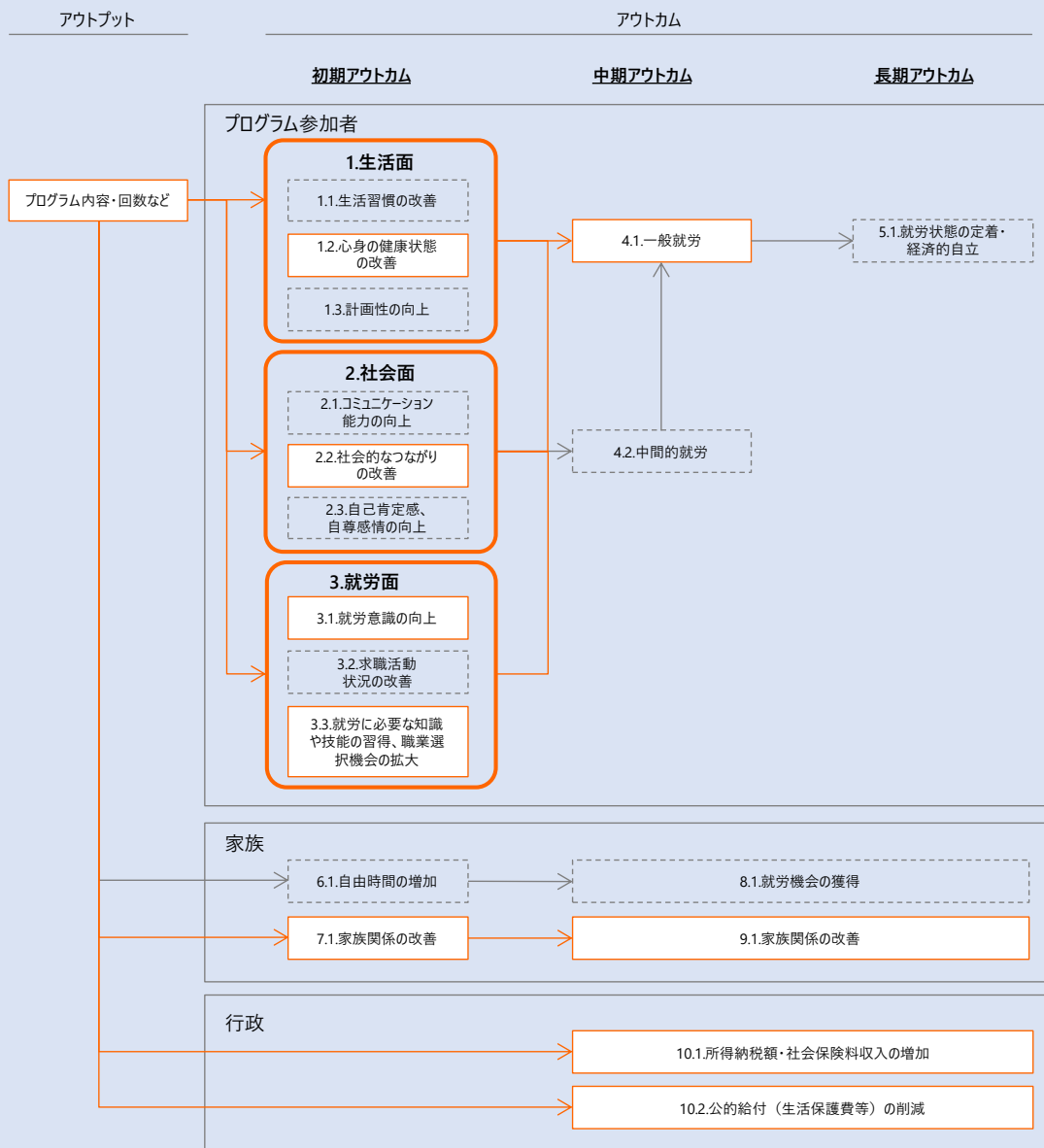
ロジック・モデルの例

事業内容：IT スキル講習を組み合わせた就労支援

本事業は、就労に困難を抱える若者を対象に IT スキル講習と就労支援サービスを組み合わせて提供することで、進路決定等への可能性を高めるプログラムです。

本事業のアウトカムは、「プログラム参加者」については、「就業決定」の他、講習に定期的に通うことで体力がつくことによる「健康状態の改善」や講習を一定期間同じメンバーで続けることで友人や相談相手ができることによる「社会的なつながりの改善」、働く自信が向上することによる「就労意欲の向上」、IT スキルの習得による「就労に必要な知識や技能の習得」となります。その他「家族」「行政」についてもアウトカムを設定します。

本事業のロジック・モデルは以下のように表現することができます（オレンジ色のライン）。



Ⅲ. アウトカムを測定する方法を決める

「Ⅱ. ロジック・モデルをつくる」で挙げたアウトカムを測定するためには、一般的には下表に示すような指標が用いられます。次ページ以降で、それぞれの指標について、一般的な測定方法を紹介します。

図表 2：アウトカム指標と測定方法の一覧

ステークホルダー	アウトカムの種類	アウトカムのカテゴリ	詳細アウトカム	指標	測定方法 (掲載ページ)
プログラム参加者	初期アウトカム	1. 生活自立	1.1. 生活習慣の改善	生活リズムの改善	P.7
			1.2. 心身の健康状態の改善	体力・健康の改善	P.8
			1.3. 計画性の向上	計画づくりや目標設定の改善	P.9
				金銭管理の健全性の改善	P.10
		2. 社会自立	2.1. コミュニケーション能力の向上	コミュニケーション能力の向上	P.11
			2.2. 社会的なつながりの改善	友人・知人関係の改善	P.12
			2.3. 自己肯定感、自尊感情の向上	自己肯定感、自尊感情の向上	P.13
		3. 就労自立	3.1. 就労意識の向上	就労意欲の向上	P.15
				働く自信の向上	P.16
			3.2. 求職活動状況の改善	求職活動状況の改善	P.17
			3.3. 就労のための知識や技能の獲得、 職業選択機会の拡大	知識や技能の向上	P.18
				選択機会の拡大	P.19
	中期アウトカム	4. 就業	4.1. 一般就業	就業形態と賃金の増加	P.20
			4.2. 中間的就労	就業形態と賃金の増加	P.20
	長期アウトカム	5. 就業状態の定着	5.1. 就業状態の定着	3ヶ月後の就労定着状態	P.21
家族	初期アウトカム	6. 自由時間の増加	6.1. 自由時間の増加	自由時間の増加	P.22
		7. 家族関係の改善	7.1. 家族関係の改善	家族関係の改善	P.23
	中・長期アウトカム	8. 就労機会の獲得	8.1. 就労機会の獲得	賃金の増加	P.24
		9. 家族関係の改善	9.1. 家族関係の改善	家族関係の改善	P.23
行政	中・長期アウトカム	10. 納税額・社会保険料徴収の増加等	10.1. 納税額・社会保険料徴収の増加	所得税納税額の増加	P.25
				社会保険料徴収の増加	P.26
		10.2. 公的給付の削減		公的給付（生活保護費等）の削減	P.27

アウトカム 1.1. 生活習慣の改善

指標 生活リズムの改善

測定方法

出所：

障害者職業総合センター（2009）「就労支援のためのチェックリスト」

<http://www.nivr.jeed.or.jp/research/kyouzai/30.html>

「就労支援のための訓練生用チェックリスト」 pp.2-3

1. 起床、食事、睡眠などの生活リズムは規則正しい

1：生活リズムは規則正しくない。

2：生活リズムはあまり規則正しくない。

3：生活リズムはだいたい規則正しい。

4：生活リズムは規則正しい。

その他参考測定方法

- ① 厚生労働省社会福祉推進事業「生活困窮者自立支援法における就労準備支援事業評価ガイドライン」

<http://u-shien.jp/work2015/guideline/>

測定方法－アウトカムの測定方法－表5 アンケート票「1-1.生活習慣」

- ② 厚生労働省政策統括官付政策評価官室委託（2014）「健康意識に関する調査」

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000052548.html>

報告書 p.16

アウトカム 1.2. 心身の健康状態の改善

指標 体力・健康の改善

測定方法

出所：

厚生労働省社会福祉推進事業「生活困窮者自立支援法における就労準備支援事業評価ガイドライン」

<http://u-shien.jp/work2015/guideline/>

測定方法－アウトカムの測定方法－表5 アンケート票「1-2.心身の健康状態」

1. 遅刻、欠席せずに働き続ける体力、健康がある

1：全くあてはまらない

2：あまりあてはまらない

3：どちらとも言えない

4：ややあてはまる

5：非常にあてはまる

その他参考測定方法

- ① 厚生労働省政策統括官付政策評価官室委託（2014）「健康意識に関する調査」

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000052548.html>

報告書 p.8

- ② NPC (2014) “The Journey to Employment (JET) framework”

<http://www.thinknpc.org/publications/the-journey-to-employment/>

pp.33-34

Source: Disability module, LSYPE Wave 4

<https://www.education.gov.uk/ilsype/workspaces/public/wiki/Questionnaires/>

アウトカム 1.3. 計画性の向上

指標 計画づくりや目標設定の改善

測定方法

出所：

厚生労働省社会福祉推進事業「生活困窮者自立支援法における就労準備支援事業評価ガイドライン」

<http://u-shien.jp/work2015/guideline/>

測定方法－アウトカムの測定方法－表5 アンケート票「1-3.計画性」

1. 生活していく上での目標や計画を自分で立てている

1：全くあてはまらない

2：あまりあてはまらない

3：どちらとも言えない

4：ややあてはまる

5：非常にあてはまる

その他参考測定方法

① 西村公子・榎野潤（2011）「ジョブカードを活用したキャリア・コンサルティングの効果」

<http://www.jil.go.jp/institute/discussion/2011/11-04.html>

p.45、Q3. 職業生活の自信、質問（ウ）

② 経済産業省（2008）「今日から始める社会人基礎力の育成と評価」

<http://www.meti.go.jp/policy/kisoryoku/h19reference.htm>

「平成19年度版 社会人基礎力育成・評価のためのリファレンスブック」p.28、考え抜く力、計画力

アウトカム 1.3. 計画性の向上

指標 金銭管理の健全性の向上

測定方法

出所：

厚生労働省社会福祉推進事業「生活困窮者自立支援法における就労準備支援事業評価ガイドライン」

<http://u-shien.jp/work2015/guideline/>

測定方法－アウトカムの測定方法－表5 アンケート票「1-3.計画性」

1. 毎月の収入の範囲内で生計が成り立つような金銭管理ができている

1：全くあてはまらない

2：あまりあてはまらない

3：どちらとも言えない

4：ややあてはまる

5：非常にあてはまる

アウトカム 2.1. コミュニケーション能力
指標 コミュニケーション能力の向上
測定方法

出所：

厚生労働省社会福祉推進事業「生活困窮者自立支援法における就労準備支援事業評価ガイドライン」

<http://u-shien.jp/work2015/guideline/>

測定方法－アウトカムの測定方法－表5 アンケート票「2-1.コミュニケーション能力」

1. 他の人と場や状況に合わせた会話や意思疎通（コミュニケーション）を図ることができる

1：全くあてはまらない

2：あまりあてはまらない

3：どちらとも言えない

4：ややあてはまる

5：非常にあてはまる

その他参考測定方法

① NPC (2014) “The Journey to Employment (JET) framework”

<http://www.thinknpc.org/publications/the-journey-to-employment/>

p.48

Source: California Healthy Kids Survey, communication and cooperation scale

<http://chks.wested.org/administer/download>

アウトカム 2.2. 社会的なつながりの改善

指標 友人・知人関係の改善

測定方法

出所：

厚生労働省社会福祉推進事業「生活困窮者自立支援法における就労準備支援事業評価ガイドライン」

<http://u-shien.jp/work2015/guideline/>

測定方法－アウトカムの測定方法－表5 アンケート票「2-2.社会的なつながり」

1. 友人や知り合いとの会話の機会が多い

1：全くあてはまらない

2：あまりあてはまらない

3：どちらとも言えない

4：ややあてはまる

5：非常にあてはまる

その他参考測定方法

① 内閣府（2014）「平成25年度 我が国と諸外国の若者の意識に関する調査」

http://www8.cao.go.jp/youth/kenkyu/thinking/h25/pdf_index.html

p.46

② 小谷みどり（2008）「親戚、近所、友人とのつきあいの実態」『Life Design Report（2008年11-12月号）』第一生命経済研究所

<http://group.dai-ichi-life.co.jp/dlri/ldi/note/notes0811a.pdf>

pp.16-23

アウトカム 2.3. 自己肯定感、自尊感情の向上

指標 自己肯定感、自尊感情の向上

測定方法 ローゼンバーグ自尊感情尺度

ローゼンバーグ自尊感情尺度（Rosenberg's Self Esteem Scale: RSES）は、国内外で広く用いられている、自己肯定感の程度を測定するための 10 項目からなる尺度です。

出所：

Rosenberg, M. (1965) Society and the adolescent self-image. Princeton, NJ: Princeton University Press:

http://fetzer.org/sites/default/files/images/stories/pdf/selfmeasures/Self_Measures_for_Self-Esteem_ROSENBERG_SELF-ESTEEM.pdf

内田 智宏, 上埜 高志（2010）「Rosenberg 自尊感情尺度の信頼性および妥当性の検討：Mimura & Griffiths 訳の日本語版を用いて」東北大学大学院教育学研究科研究年報, 第 58 集・第 2 号.

	強くそう思う	そう思う	そう思わない	強くそう 思わない
1. 私は、自分自身にだいたい満足している。	☐	☐	☐	☐
2. 時々、自分はまったくダメだと思うことがある。	☐	☐	☐	☐
3. 私には、けっこう長所があると感じている。	☐	☐	☐	☐
4. 私は、他の大半の人と同じくらいに物事がこなせる。	☐	☐	☐	☐
5. 私には誇れるものが大してないと感じる。	☐	☐	☐	☐
6. 時々、自分は役に立たないと強く感じることもある。	☐	☐	☐	☐
7. 自分は少なくとも他の人と同じくらい価値のある人間だ と感じる。	☐	☐	☐	☐
8. 自分のことをもう少し尊敬できたらいいと思う。	☐	☐	☐	☐
9. よく、私は落ちこぼれだと思ってしまう。	☐	☐	☐	☐
10. 私は、自分のことを前向きに考えている。	☐	☐	☐	☐

* 強くそう思う=4, そう思う=3、そう思わない=2、強くそう思わない=1 で点数化（質問項目 2, 5, 6, 8, 9 については、強くそう思う=1、そう思う=2、そう思わない=3、強くそう思わない=4）。

その他参考測定方法

① 2項目自尊感情尺度

2項目自尊感情尺度は、自尊感情概念の2側面（「評価的側面」および「受容的側面」）を測定するそれぞれ1項目からなる尺度です。

本尺度は、回答者の負担をできるだけ小さくするため、ローゼンバーグ自尊感情尺度をもとに、2項目の尺度として作成されたものです。

出所：

箕浦 有希久, 成田 健一（2013）「2項目自尊感情尺度の提案：評価と受容の2側面に注目して」関西学院大学人文論究, 63(1), 129-147.

	とてもよくあてはまる	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	まったくあてはまらない
1. 自分にはいろいろな良い素質があると思う。	☐	☐	☐	☐	☐
2. 自分のことを好ましく感じる。	☐	☐	☐	☐	☐

* とてもよくあてはまる=5, あてはまる=4、どちらともいえない=3、あてはまらない=2、まったくあてはまらない=1 で点数化。

アウトカム 3.1. 勤労意欲の向上

指標 勤労意欲の向上

測定方法

出所：

厚生労働省社会福祉推進事業「生活困窮者自立支援法における就労準備支援事業評価ガイドライン」

<http://u-shien.jp/work2015/guideline/>

測定方法－アウトカムの測定方法－表5 アンケート票「3-1.就労意識」

1. 就労意欲がある

1：全くあてはまらない

2：あまりあてはまらない

3：どちらとも言えない

4：ややあてはまる

5：非常にあてはまる

その他参考測定方法

① 障害者職業総合センター（2006）「就労移行支援のためのチェックリスト」

http://www.nivr.jeed.or.jp/research/kyouzai/19_checklist.html

チェックリスト p.9

アウトカム 3.1. 勤労意欲の向上

指標 働く自信の向上

測定方法

出所：

厚生労働省社会福祉推進事業「生活困窮者自立支援法における就労準備支援事業評価ガイドライン」

<http://u-shien.jp/work2015/guideline/>

測定方法－アウトカムの測定方法－表5 アンケート票「3-1.就労意識」

1. 働いていく自信がある

1：全くあてはまらない

2：あまりあてはまらない

3：どちらとも言えない

4：ややあてはまる

5：非常にあてはまる

その他参考測定方法

① 内閣府（2014）「平成25年度 我が国と諸外国の若者の意識に関する調査」

http://www8.cao.go.jp/youth/kenkyu/thinking/h25/pdf_index.html

p.91

アウトカム 3.2. 求職状況の改善

指標 求職状況の改善

測定方法

出所：

厚生労働省社会福祉推進事業「生活困窮者自立支援法における就労準備支援事業評価ガイドライン」

<http://u-shien.jp/work2015/guideline/>

測定方法－アウトカムの測定方法－表5 アンケート票「3-2.求職活動状況」

1. 希望する仕事を決めるのに、必要な情報・資料を自分で集めている
2. 就職に対する準備（履歴書作成、面接準備、試験の準備など）が整っている
3. 求職活動を行っている、または就職相談をしている

1：全くあてはまらない

2：あまりあてはまらない

3：どちらとも言えない

4：ややあてはまる

5：非常にあてはまる

その他参考測定方法

- ① リクルートキャリア（2016）「就職プロセス調査 2017年卒 調査報告書－2016年4月度－」

<http://data.recruitcareer.co.jp/research/2016/04/201720164-5d13.html>

p.13

アウトカム 3.3. 就労のための知識や技能の獲得、職業選択機会の拡大

指標 知識や技能の向上

測定方法

出所：

厚生労働省社会福祉推進事業「生活困窮者自立支援法における就労準備支援事業評価ガイドライン」

<http://u-shien.jp/work2015/guideline/>

測定方法－アウトカムの測定方法－表5 アンケート票「3-3.就労のための知識や技能、職業選択の機会」

1. 希望する仕事に就くために必要な知識や技能を持っている

1：全くあてはまらない

2：あまりあてはまらない

3：どちらとも言えない

4：ややあてはまる

5：非常にあてはまる

アウトカム 3.3. 就労のための知識や技能の獲得、職業選択機会の拡大

指標 選択機会の拡大

測定方法

出所：

厚生労働省社会福祉推進事業「生活困窮者自立支援法における就労準備支援事業評価ガイドライン」

<http://u-shien.jp/work2015/guideline/>

測定方法－アウトカムの測定方法－表5 アンケート票「3-3.就労のための知識や技能、職業
選択の機会」

1. 自分に適した仕事を複数挙げることができる

- 1：全くあてはまらない
- 2：あまりあてはまらない
- 3：どちらとも言えない
- 4：ややあてはまる
- 5：非常にあてはまる

アウトカム 4.1. 一般就業 / 4.2. 中間的就労

指標 就業形態と賃金の増加

測定方法

出所：

厚生労働省社会福祉推進事業「生活困窮者自立支援法における就労準備支援事業評価ガイドライン」

<http://u-shien.jp/work2015/guideline/>

測定方法－アウトカムの測定方法－表 6 アンケート票「4.就業について」

1. あなたの就業形態は以下のどれですか？

1：一般就業している

2：中間的就労している

(1. で「1：一般就業している」を選択した方のみ下記を回答してください)

2. あなたの就業した際の雇用形態は以下のどれですか？

1：正社員（正職員）

2：契約社員（嘱託・臨時）

3：派遣社員

4：パート、アルバイト

5：その他

(1. で「1：一般就業している」「2：中間的就労している」を選択した方いずれも下記を回答してください)

3. 平均的な月の給料を教えてください。税込みの金額で教えてください。(任意でお応えください)

月額 _____ 円くらい（税込み）

アウトカム 5.1. 就業状態の継続

指標 一定期間後の就業状態の定着

測定方法

就労支援終了後、一定期間をあけてフォローアップアンケートやインタビュー調査で就業状態の定着を調査します。

出所：

厚生労働省社会福祉推進事業「生活困窮者自立支援法における就労準備支援事業評価ガイドライン」

<http://u-shien.jp/work2015/guideline/>

測定方法－アウトカムの測定方法－表 7 アンケート票「1.就業について」

1. あなたの就業形態は以下のどれですか？

- 1：一般就業している
- 2：中間的就労している
- 3：就職はしていないが、求職活動は行っている
- 4：働いておらず、求職活動も行っていない

(1. で「1：一般就業している」を選択した方のみ下記を回答してください)

2. プログラム終了直後から職場の変更はありますか？

- 1：変更なし
- 2：変更あり

(1. で「1：一般就業している」を選択した方のみ下記を回答してください)

3. あなたの就業した際の雇用形態は以下のどれですか？

- 1：正社員（正職員）
- 2：契約社員（嘱託・臨時）
- 3：派遣社員
- 4：パート、アルバイト
- 5：その他

(1. で 「1:一般就業」「2:中間的就労」を選択した方いずれも下記を回答してください)

4. 平均的な月の給料を教えてください。税込みの金額で教えてください。(任意でお応えください)

月額 _____ 円くらい（税込み）

アウトカム 6.1. 自由時間の増加

指標 自由時間の増加

測定方法

「家族」に対してアンケートやインタビュー調査を行い、「プログラム参加者」が就労支援を受ける前後で自分の自由時間が増加したかどうかを調査します。

1. 「プログラム参加者」が就労支援を受ける前と比べて、あなた（「家族」）の自由になる時間が増えた。
 - 1：全くあてはまらない
 - 2：あまりあてはまらない
 - 3：どちらとも言えない
 - 4：ややあてはまる
 - 5：非常にあてはまる

アウトカム 7.1. / 9.1. 家族関係の改善

指標 家族関係の改善

測定方法

「プログラム参加者」または「家族」に対してアンケートやインタビュー調査を行い、「プログラム参加者」が就労支援を受ける前後で家族関係が改善したかどうかを調査します。

1. 「プログラム参加者」が就労支援を受ける前と比べて、家族の関係は良くなりましたか？

- 1：全くあてはまらない
- 2：あまりあてはまらない
- 3：どちらとも言えない
- 4：ややあてはまる
- 5：非常にあてはまる

アウトカム 8.1. 就労機会の獲得

指標 賃金の増加

測定方法

「家族」に対してアンケートやインタビュー調査を行い、「プログラム参加者」が就労支援を受けることで、「家族」の自由な時間が増加した結果として、就労機会の獲得につながったかどうかを「家族」を対象に調査します。

1. あなた（「家族」）は、「プログラム参加者」が就労支援を受ける前と比べて、自分の自由な時間が増加した結果として、新たな就労機会を得ることが出来ましたか？

1：はい

2：いいえ

（1. で「1：はい」を選択した方のみ下記を回答してください）

2. 平均的な月の給料を教えてください。税込みの金額で教えてください。（任意でお応えください）

月額 _____ 円くらい（税込み）

アウトカム 10.1. 納税額・社会保険料徴収の増加
指標 所得税納税額、社会保険料徴収の増加
測定方法

就労に伴う納税額（住民税、所得税）、社会保険料の計算は、以下を参考に賃金に応じて事業者が計算します。

- 住民税：支援対象者の住所のある役所の HP を参照
- 所得税：国税庁「所得税の税率」を参照
<https://www.nta.go.jp/taxanswer/shotoku/2260.htm>
- 健康保険料：全国健康保険協会 HP の「保険料額表」を参照
<https://www.kyoukaikenpo.or.jp/g3/cat330/sb3150/h26/h26ryougakuhyou>
- 厚生年金：日本年金機構 HP の「保険料額表」を参照
<https://www.nenkin.go.jp/service/kounen/hokenryo-gaku/gakuhyo/20140808.html>

アウトカム 10.2. 公的給付の削減

指標 公的給付（生活保護費）の削減

測定方法

「プログラム対象者」に事業終了後に実際の公的給付額の変化について直接確認する、もしくは「行政」に確認して実際の削減額を調査します。